

臼杵市 施策評価シート  
(令和2年度)

評価 担当者	課名	氏名	内線
	保険健康課	杉野 等	1140

コード	I-1-2	施策名	医療・保健・福祉の連携
施策の 方針	健康寿命を延伸する		
まちづくり の方針	生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉)		
5年後の めざす姿	市民の健康維持・向上のための取組を進めます。安心して医療を受けることができるよう適正医療を推進することにより、医療、介護、福祉、地域、行政などの関係機関のネットワークを構築し、支え合いの仕組みを確立し、安心・安全な医療や介護のサービスの提供をめざします。		
施策の 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ うすき石仏ねつとの機能充実を図り、医療・検査、介護情報の共有化に加え、市民が利便性を感じる「うすき石仏ねつと」の構築に取り組みます。</li> <li>・ 在宅医療・介護連携事業を推進し、利用者も従事者も安心できる現場となり得るよう、多職種間の情報の共有、連携強化を図るとともに、人材育成・確保に向けて取り組みます。</li> <li>・ 医療、介護、行政等による疾患連携に取り組み、生活習慣病等の早期発見、適切な治療へと繋げ、医療費の適正化・抑制を図ります。</li> </ul>		

<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移						
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
1人当たりの医療費の前年比伸び率	国民健康保険加入者1人あたりの医療費を前年度と比較したときの伸び率	目標 実績 達成率	割合	▲	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
				509,464	497,692				
「うすき石仏ねつと」加入者数【累計】	うすき石仏ねつと運営協議会より	目標 実績 達成率	人	▲	21,500	22,000	22,500	23,000	26,500
				21,854	22,856				
					106.3%				
後発医薬品使用率	大分県国民健康保険連合会統計より	目標 実績 達成率	割合	▲	79.0	79.4	79.7	80.0	80.0
				76.6	79.1				
					100.1%				
		目標 実績 達成率		▲					
		目標 実績 達成率		▲					
		目標 実績 達成率		▲					

指標の分析	一人当たり医療費は、年度途中のため10月分を割り戻した数値から見ると、前年を3.4%下回っているが、コロナ禍において受診控え等があり、最終でも前年を下回ると思われる。しかしながら、受診すべき者が受診していないこともあり、結果疾病の進行や、重症化につながるため、コロナ禍においては指標としての分析評価が困難である。しかしながら後発医薬品使用率の拡大や、石仏ねつとの効果的な活用で、医療費の抑制につながってくるので、この2事業は継続して実施することが有効です。石仏ねつとの加入者については、市民が直接メリットを感じるアイテムを導入するなど、改善に努める必要があります。
-------	--

<市民意識調査結果>

市民意識調査結果 (R2調査)	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果 (R2調査)	向上領域	2.61	2.22
	令和2年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」とも高く、「向上領域」に位置しており、取り組みの向上や維持が望まれています。		
市民意識調査結果分析	「必要度」「満足度」とも高い位置にありますが、うすき石仏ねつとに関しては、より安心・安全な医療や介護サービスが提供できるよう、市民が利便性を感じることができるシステムへと機能の充実を図る必要があると考えます。また、在宅医療介護連携推進事業の普及啓発に取り組み、支え合いの意識を育てていきます。		

<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題	「自助：自分の健康は自分で守る」という個人の意識向上に、地道な啓発を「共助：地域住民がともに自分の健康管理に努め、地域ぐるみで取り組む体制と認識の向上」を図る必要がある。そのために「公助：各種検診受診率向上や、石仏ねつとの普及とサービスの拡充を図る」ために、医師会等関係機関とより連携し、地域包括ケアシステムの構築に向けて、協力に取り組むことが求められる。しかしながら、コロナ禍において、今までとは違った手法での取り組みが求められ、事業継続をどのように行っていくか、必要とされる新規事業をどのように展開していくかが大きな課題です。
------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の 重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長 評価	公共 5 カ 年	他の 関連 施策 コード
				R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 見込み			
1 うすき石仏ねつと運営事業	医療・保健・福祉・介護を中心とした関係機関によるネットワークの構築	保険健康課	○	10,547	10,616	9,733	重点継続	○	
2 医療費適正化事業	医療費の適正化に向けた取組	保険健康課	○	27,749	21,361	28,100	重点継続		
3 在宅医療・介護連携推進事業	医療・保健・福祉・介護に携わる多職種と行政が連携し、多職種協働で在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築します。	保険健康課	○	4,561	4,456	4,536	重点継続		I-3-7
4 医療人材育成事業	へき地医療拠点病院での内科医療人材育成のために大分大学内科専門研修プログラム研修事業による医師派遣に伴う事業費を医師会が負担するため、約1/2を助成。	保険健康課		4,000	4,000	5,000	継続	○	
5 人材育成貸付金事業(医学生等奨学金)	臼杵市の医療を支える人材の育成・確保を目的に医師、看護師を目指す方を対象とした奨学金制度です。	保険健康課		3,600	3,100	6,600	継続		
合計				50,457	43,533	53,969			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	医療関係機関と連携し、安全で質の高い医療・福祉・介護サービスの提供をめざし取り組んでいるうすき石仏ねつとは、加入者2万3千人で、市民の60%の方が加入する非常に人気の高いシステムです。令和4稼働予定の大分市で運用される医療連携ICTの構築を進め、大分市での稼働により、臼杵市から多くの市民が受診している主要病院との連携ができることにより、現システムとの連携で更なる重要性を増していきます。今後も普及啓発、効果検証、保健事業への活用に加え、市民が加入しているメリットを実感できるアプリサービス等の導入を進めていきます。	課長評価
概ね順調	在宅医療・介護連携推進事業「臼杵市Z会議」については、多職種連携を強化し、地域包括ケアの実現に向け、取り組みの強化が必要です。本年はコロナ禍において、各職種が手探りで事業展開していた中、共通する問題等に対処法や解決策を共有することができ、今後の展開につながることを期待されます。本市においては医療従事者人材確保も重要な案件であり、大分大学内科専門研修プログラム研修事業の実施や、医学生看護学生奨学金制度の拡充することにより、人材確保につなげ、市民が安心して生活できるまちをめざします。	最重点施策であり、来年度強化する

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

内部評価	最重点施策であり、来年度強化する	他市に先駆けて実施している施策であり、さらなる推進を行っているため。
------	------------------	------------------------------------

<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
石仏ねつととマイナンバーカードの連携など、市民の利便性がある内容については、積極的に行ってほしい。また、市内の医療機関全てで石仏ねつとが活用できるよう啓発を行ってほしい。医療に関わる部分で、ICTを活用する場合は、医師や現場が取り組みやすくなるよう利点を示すことで、コロナ禍で負担の大きかった医療現場支援の仕組みを作ってほしい。	強化

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

石仏ねつととマイナンバーカードの連携については、今後検討を行う。石仏ネットは、大分市でも取り組みを開始するよう準備中。より市民の利便性向上のため取り組んでいきたい。また、市内の医療機関全てで石仏ねつと活用できるよう引き続き取り組んでいきたい。
---